

経営比較分析表（令和5年度決算）

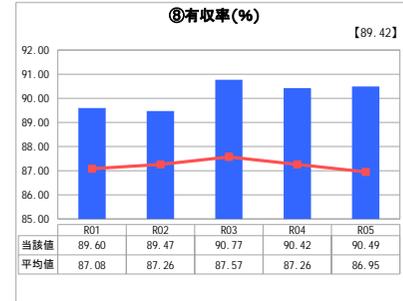
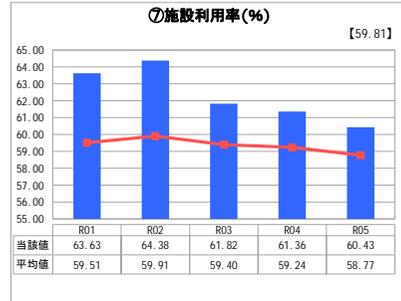
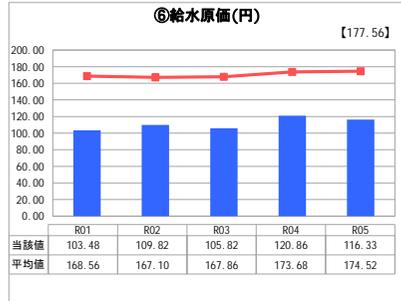
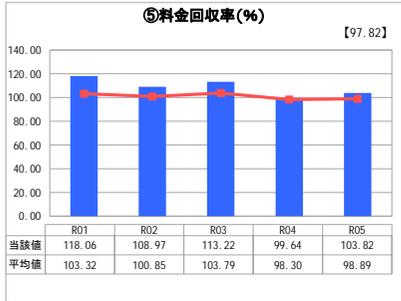
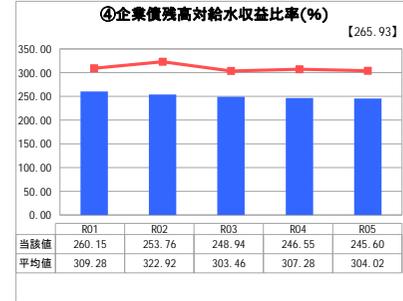
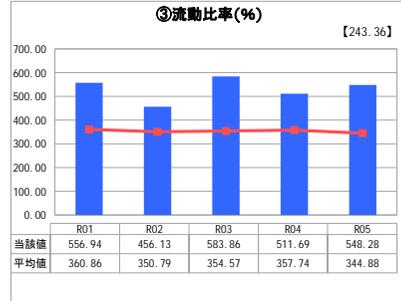
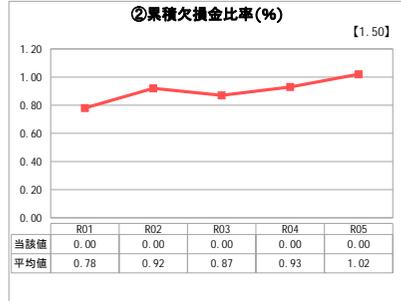
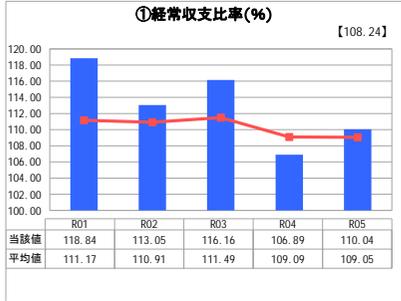
兵庫県 たつの市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	82.30	99.90	1,815	

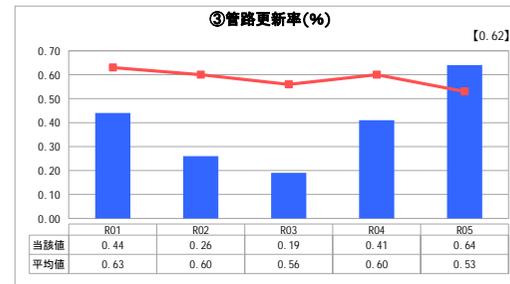
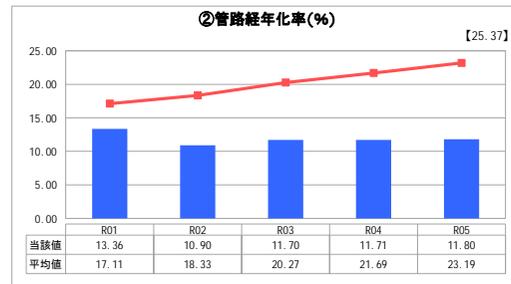
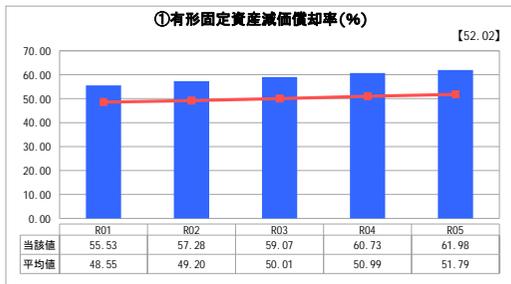
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
73,201	210.87	347.14
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
51,501	78.09	659.51

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度は動力費の減少等に伴う営業費用の減少により、経常収支比率が改善した。また、費用減少の影響により、給水原価が低下し、料金回収率は100%以上となった。
 企業債残高対給水収益比率は類似団体と比較して低い水準で推移しており、引き続き、企業債残高の抑制に努めていく。
 施設利用率は平均値を上回っているが、減少傾向にあるため、施設の統廃合を検討していく必要がある。
 今後も人口減少等による給水収益の減少や、施設の老朽化による更新費用の増加が見込まれるため、経営の健全化に取り組んでいく必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が上昇しており、施設の更新を進めていく必要がある。
 下水道整備事業に併せて管路を更新しているため、管路経年化率が平均値と比較して低くなっている。
 施設の長寿命化や統廃合を検討し、計画的かつ効率的な更新に取り組む必要がある。

全体総括

経営状況は比較的良好に推移しているが、安全で安心な水の安定供給を継続していくため、施設の老朽化対策が課題となっている。
 今後の給水収益の減少や物価上昇等を反映した維持管理費等の上昇を踏まえ、経費削減や経営合理化を図ったうえで適正な水準への料金改定を検討するとともに、更新事業等の財源の確保を図り、安定供給と健全経営の両立に取り組んでいく。